

編集後記

今回は、編集後記にかえて本誌掲載論文に対して幾分書評めいたことを述べさせて頂きます。ご容赦を賜りたい。

平成14年（2002年）度の本学研究紀要への寄稿論文数は全部で13篇あった。その内、単著論文は2篇、共著は11篇であった。共著11篇中には同一著者名が3～5回ほど見られた。

研究論文の評価は、通常、研究目標の必然性、独創性、斬新さ、論旨・主張・結論が明確であること、等で測られて行われる。若さ故の表現上の過不足や結論の緩さが見えても、それは研究者の誰もがどこかで経験することである。独りで、それらの評価を見定めて研究を進める姿勢は研究者としては貴重であります。

共著（共同研究）は本学の学生に係るものが多かった。論文の結論が本学の具体的な教育目的（国家試験合格率、就職の見通し）や国内外の関連する研究結果との比較等と繋がっているか否か、に大いに関心がありました。

調査等で本学学生の問題点が明確になったのは興味をさそった。その問題が制度（含学則）の問題、教育をする側／教育をされる側の問題等に起因するののかという記述（考察）が期待されました。

本学では、共同研究は経験豊かな先輩が若手研究者を育成し、彼らがやがて自立した研究者に成長していくために有効であると考えられております。

本研究紀要は全国版であり、本誌はその意味でも一層の充実を図る時期にあると考えます。高等教育・研究機関としての本学のアカデミックな方向を形成する意味でも、教員諸氏がこの考えにご賛同下されれば幸いです。

2003年2月

研究委員長 木村 滋

日本赤十字秋田短期大学 紀要 第7号

平成15年3月15日発行

編集・発行 日本赤十字秋田短期大学

紀要編集委員会

〒010-1406 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3

Tel 018-829-3000・Fax 018-829-3030

E-mail info@venus.rcakita-jc.ac.jp

印刷 武内印刷株式会社

〒010-0933 秋田市川元松丘町4番59号

Tel 018-862-8754・Fax 018-863-1066